

感染防止策チェックリスト

基本的な感染防止	イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。 ※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。	
①飛沫の抑制 (マスクの着用や大声を出さないこと) の徹底	☑	<p>【大声なしの場合】</p> <p>飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（不織布マスクを推奨）の正しい着用（※1）や大声（※2）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。</p> <p>（※1）マスクの着用については、厚生労働省HP「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」参照。なお、屋外において、他社と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意してください。</p> <p>（※2）大声の定義を「観客が①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。</p> <p>【大声ありの場合】</p> <p>【大声なしの場合】の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。</p>
②手洗、手指・施設消毒の徹底	☑	こまめな手洗いや手指消毒の徹底を促す。 (会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施)
	☑	主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。
③換気の徹底	☑	法令等を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気の徹底。 (「1時間に2回以上、1回に5分間以上」、「室温が下がらない範囲で常時窓開け」等)
④来場者間の密集回避	☑	入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。
	☑	休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築を行う。
	☑	大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離を確保する。
⑤飲食の制限	☑	飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）を徹底する。
	☑	飲食中以外のマスクの着用を推奨する。
	☑	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染リスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛する。
	☑	千葉県の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）をする。
⑥出演者等の感染対策	☑	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	☑	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
	☑	出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる。 (誘導スタッフ等必要な場合を除く。)
⑦参加者の把握・管理等	☑	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用して参加者を把握する。
	☑	入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止する。
	☑	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。
⑧業種別ガイドラインの遵守	☑	①から⑦に加え、千葉県からの要請や各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守する。
	業種別ガイドラインの名称を以下に記載（該当する業種において策定されていない場合は「なし」と記載）。 公益社団法人日本青年会議所が定める祭り・イベント等開催に向けた感染拡大防止ガイドライン	